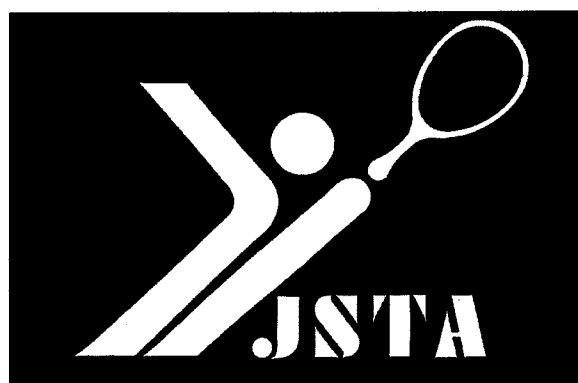


会員登録制度の定着と小・中学生の 会員登録有料化の実施について



平成17年2月

(財) 日本ソフトテニス連盟

会員登録制度の定着と小・中学生の会員登録有料化の実施について

(財)日本ソフトテニス連盟は、平成11年度から本連盟および加盟団体(都道府県ソフトテニス連盟、日本学生ソフトテニス連盟、全国高等学校体育連盟ソフトテニス部、日本中学校体育連盟ソフトテニス部、ならびに市区町村ソフトテニス連盟などの下部組織)に所属し、それらの組織が行う競技会などの事業に参加しようとする全ての会員(部員)を対象に会員登録制度を実施してまいりました。

会員登録制度は、日本ソフトテニス連盟およびその加盟団体(下部組織含む)における会員組織を確立し、会員およびその所属団体を明確に把握することにより、普及活動の基盤として役立てるとともに、各組織の健全な財政に寄与させるために実施したものです。会員登録制度実施後6年を経過しましたが、加盟団体の絶大なるご協力のおかげで会員登録者数は年々増加し、制度の定着が図られてまいりました。

(※表1、表3を参照)

ソフトテニスの一層の振興のために行う諸事業は、本連盟の長期基本方針に沿って推進されており、会員登録制度の実施による会員からの会費は貴重な財源となっております。

そして、長期基本方針に定められた課題をより有効に実現することを目標とし、これらの財源を有効に活用し、平成14年度～平成18年度までの新長期基本方針重要課題の実施計画に沿って事業を推進しているところです。

特に、今後は、総合的、長期的な競技力向上対策としての競技者育成プログラム(一貫指導システム)の推進と大衆性の向上を図るための指導者の育成、そしてさらなる国際性の向上が重点目標と考えています。

そこで、これらの事業を着実に、かつ強力に推進するため、懸案事項となっておりました小学生・中学生の登録について、平成17年度より有料化することとしました。

このことにより制度の趣旨、目的である会員組織の確立と財政への寄与がより強固なものとなり、ソフトテニスの一層の普及が図れるものと確信しておりますので、よろしくご協力の程お願いいたします。

【会員登録の実績】 ※表1

(数値：名)

種 別	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	一般	合計
平成15年度	16,739	370,521	90,116	216	6,654	49,417	533,663
平成14年度	16,654	370,570	87,409	247	6,255	49,083	530,218
平成13年度	11,448	350,556	83,864		6,299	48,683	500,850
平成12年度	9,483	329,026	82,644		6,012	48,343	475,508
平成11年度	8,826	321,317	77,818		4,663	47,347	459,971

【会員登録料 内訳】 ※表2

一般クラブ(顧問・指導者含む)	1,000円
小学生	500円
中学生	500円
高体連所属の高校生	500円
高等専門学校生	500円
日本学連所属の大学生	500円

※ 小学生・中学生は平成17年度より有料

会員登録料の使途及び成果

会員登録料の使途は、主として次の5つの施策の推進に用いられており、その成果は※のとおりである。

1 競技性の向上

競技大会を充実させ、参加者と観客がともに感動をおぼえるような大会にする。

※ルール改訂、派遣審判員制度実施、大会開催地関係費増強等が図られた。

2 競技力の向上

ジュニア層から社会人層まで基本的な指導システムにより技術力、体力、闘争力をもってレベルの高い選手層を総合的に育成する。また、それを実現するための多くの指導者を養成する。

※選手強化費の増強、公認指導者制度改訂への対応、指導者バンクの創設、競技者育成プログラムの策定などを実施した。

3 国際性の向上

オリンピック競技大会への参加という大きな目標に向かって、①欧米を中心としたアジア以外への普及 ②アジア各国の定着化 ③国際組織の充実等を行う。

※東アジア競技大会、アジア競技大会への正式参加の実現、世界の40カ国（地域）に普及が図られた。

4 生涯スポーツとしての一層の大衆化の促進

生涯スポーツとしての普及対策としては、大会、講習会などの充実、指導教材の充実、指導者の育成などであるが、小・中・高校生・シニアなど各層向けのきめの細かい対応が必要である。

また、これらは本部に限らず各支部をはじめ、各地域における裾野の広い対応が重要であり、普及・強化両面にわたって推進する。

※地域グループ、ジュニア育成費の増強、ソフトテニスの日の創設、小・中・高校生指導者研修会等を実施した。

5 広報活動の強化

テレビ、新聞等、マスコミに積極的に対応する。

※NHKテレビ、ガオラでの放映、ホームページの充実等が図られた。

☆使途の収支状況は、次ページ表3をご覧ください。

小・中学生の会員登録有料化の実施

平成17年度より、小学生、中学生の登録について有料化して会員組織の確立と財政への寄与をより強固なものとし、今後の重要な課題である小・中学生を中心としたジュニア育成に必要な競技者育成プログラムの推進と指導者の養成を図りたいと考えています。

小・中学生の有料化により増額となる会員登録料は、次ページの会員登録制度収支状況の17年度予算額の欄の網掛け項目に反映される予定です。

平成18年度から競技者育成プログラムを本格的に実施し、全国的な展開の優秀選手の発掘、育成の過程における総合的、長期的な競技力向上対策と普及対策そして、それを推進するための指導者不足の解消を図るためには、この数倍の費用が必要となります。

また、要望の多かった事務の効率化と会員への直接還元として、平成17年度よりITによる登録手続が可能となり、登録された会員の皆様には特殊プラスチック製の新しい会員証を発行します。

会員登録制度収支状況(会員登録料の使途概要) ※表 3

(単位:千円)

収 入	平成11年度	平成15年度	17年度予算額
<会員登録料>			
・一般クラブ(顧問・指導者を含む)	47,300	49,400	49,000
・小学生			4,000
・中学生			92,000
・高体連所属の高校生・高等専門学生	38,900	45,200	44,000
・日本学連所属の大学生	2,300	3,300	3,000
合 計	88,500	97,900	192,000

支 出	平成11年度	平成15年度	17年度予算額
<競技性の向上>			
・大会開催地・地域大会への増額、大会表彰の充実	200	6,300	10,400
・全日本小学生大会・都道府県中学生大会	9,400	7,100	13,500
小 計	9,600	13,400	23,900
<競技力の向上>			
・選手強化費(ナショナルチーム、ジュニアナショナルチーム合宿)	9,800	12,900	18,300
・公認コーチ養成専門科目講習会関係費		600	1,200
・医科学研究費、指導要領等作成費	900	700	8,500
・競技者育成プログラム推進費(伝達講習、支部強化推進)			24,700
小 計	10,700	14,200	52,700
<国際性の向上>			
・国際大会派遣費	3,900	3,000	10,800
・国際大会振興補助費	6,700	3,700	4,500
・国際普及用用具用品購入費	1,700	1,200	2,500
・国際普及指導費	10,300	6,100	12,000
・国際大会積立	5,000	7,000	
小 計	27,600	21,000	29,800
<大衆化の促進>			
・地域グループ・ジュニア育成費(各支部へ一般登録料の10%還元)	2,400	5,000	
・地域普及費(各支部へ一般登録料の20%還元)			10,000
・中学生の育成費(各支部を通じて中体連登録料の20%還元)			20,400
・指導者バンクの補助費			2,400
・ソフトテニスの日、支部レディース大会		4,000	7,000
・審判、指導者育成費(小・中・高生指導者研修会)	2,100	2,900	3,600
小 計	4,500	11,900	43,400
<広報活動の強化>			
・テレビ放映関係費(番組作成費、放映料) NHK全日本大会の放映、衛星放送ガオラでの毎月レギュラー番組の提供の一部	8,400	15,700	17,100
・ポスター等作成費(ソフトテニスの日、全日本選手権大会)		1,600	1,200
・インターネット関係費(ホームページ管理、システム構築)	1,200	5,000	10,000
・会員報作成費		1,100	1,700
小 計	9,600	23,400	30,000
<傷害補償制度>			
・傷害補償給付金等	16,000	1,800	2,700
小 計	16,000	1,800	2,700
<その他>			
・学連への還元(大学生登録料の50%)	1,200	1,900	1,800
・高体連への還元(高校生登録料の10%)	3,900	4,800	4,700
・会員登録事務費	5,400	5,500	3,000
小 計	10,500	12,200	9,500
合 計	88,500	97,900	192,000